

校長先生が読んだ図書館の本

9月の巻

長い間読み継がれている名作は、やはりいいですね。今を切り取った新作の魅力も捨てがたいです。

「ジオジオのかんむり」 作：岸田 衿子 絵：中谷 千代子 福音館書店

✿小さな子にも読みやすい本です。しあわせって、こういうことかもしれません。

「空とぶライオン」 作・絵：佐野 洋子 講談社

✿小さな子向けですが、大人が読んでも考えさせられます。自分らしくいることが大切だと感じました。

「このよで いちばん はやいのは」 原作：ロバート・フローマン

翻案：天野祐吉 絵：あべ弘士 福音館書店

✿いろいろな速さ比べです。意外な事実には驚きの連続です。そして一番速いのは……。何だか感動してしまいます。

「ふくろうくん」 作：アーノルド・ロベール 訳：三木 卓 文化出版局

✿ふくろうくんの純真さや優しさに触れて、心が洗われました。

「小さなバイキング ビッケ」 作：ルーネル・ヨンソン 訳：石渡 利康

絵：エーヴェット・カールソン 評論社

✿海賊なのに暴力が嫌いで体が小さいビッケ少年。知恵の力で仲間から信頼を勝ち得ていきます。

「ふたりのロツテ」 作：エーリッヒ・ケストナー 訳：高橋 健二 岩波書店

✿1949年にドイツで出版された物語なのに、登場人物が洗練としていて、テーマも古びていません。さすがケストナーです。自分の考えをハッキリ主張できる女の子たちがハラハラの冒険を仕掛けます。

「捨て犬・未来と 捨て猫・未来」 著：今西 乃子 写真：浜田 一男 岩崎書店

✿多くの人に、動物を飼うことの責任を考えてほしいですね。ペットとの暮らしで、人間も心が豊かになれるとわかりました。

「星くずクライミング」 作：檜崎 茜 くもん出版

✿パラスポーツの一つ、ブラインドクライミングの本に出会いました。ナビゲーターの言葉による指示で、目の見えないクライマーが壁を登っていく二人三脚の競技です。人間の能力ってすごいなあと思いました。